

強風、大雨および低温に備える営農技術対策

平成29年4月17日
北海道農政部

強風、大雨および低温に関する注意項目

- 1 最新の天候情報に注意して、早めの準備を行う。
- 2 ビニールハウスの緩み・たるみは風が強くなる前に締める。
- 3 風雨が強くなってからは、ハウスに近づかない。
- 4 夜間の保温に努め、計画的な生育を促す。

北海道地方では、18日明け方から夜のはじめ頃にかけて、東または南東の風が非常に強く、大雨の降る所がある見込みです。このため、18日からは暴風や高波、大雨による低い土地の浸水や土砂災害、河川の増水に警戒してください。

風雨が強くなってからはハウスに近づかず、安全の確保に努めてください。随時発表される気象情報に十分注意し、次の事項の徹底に努めてください。

また、4月17日に札幌管区気象台から出された「低温に関する異常天候早期警戒情報」によると、4月22日頃からの約1週間、かなりの低温になる確率が30%以上と見込まれており、適切に対応することが必要です。最新の気象情報に十分注意し、次の事項を徹底してください。

札幌管区気象台ホームページ <http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>

第1 ビニールハウス等農業施設の強風対策

- 1 ビニールやハウスバンド等施設各部の損傷・ゆるみなどを点検し、必要に応じて補修する。
- 2 ハウスバンドを固定するアンカー杭が浮き上がっていないか確かめ、修正しておく。
- 3 バンドレスの場合は、フィルムを均等に緊張することが難しく、強風でフィルムがバタつく
と破れやすくなるので、妻側端部及び適当な中間部に防風ネットを張り、バタつかないように
する。
- 4 ハウスの筋かいは、緩んでいるところだけを締め付けると周囲の筋かいは緩むので、ハウス
全体の筋かいは均等に締め付けられるように調節する。また、ハウス中央部に支柱を設置し、
暴風雨に対するハウス強度を高める。
- 5 ハウスの出入り口、天窓、側窓、換気扇及び側面のフィルム巻上げ部などの開口部が、きち
んと締まるかチェックしておく。
- 6 被覆資材が破れ、風がハウス内に吹き込むとハウス内の圧力が大きくなり、ハウス全体が大
きな被害を受ける。また、飛来物によるハウスの破損がないよう、ハウス周辺の飛散しやすい
ものを片付けておく。
- 7 既設の防風網は点検整備を十分に行い、突風がおきやすい場所には応急的に防風網の設置を

行う。

第2 大雨対策

- 1 ビニールハウス・農舎・畜舎・サイロ・飼料庫等は、屋根や壁の点検・補修を行い、風雨による被害を防止する。
- 2 施設周辺に排水溝を掘り、ビニールハウス周辺の排水溝は、ハウスのすき床面より低く掘り下げ、ボイラーや移動できる機械類は可能な限り高所に移す。また、土のうを積むなどにより施設への浸水を防ぐ。
- 3 低地や排水不良地など滞水が心配される畑地では、明渠や排水溝へ排水できるよう溝を掘っておく。

第3 低温対策

- 1 水稲及びてんさいの育苗並びに施設園芸では、作物の生育適温を下回る気温で経過する場合、肩換気の調節により保温に努め、夕方は早めに閉めて夜温を確保する。
- 2 過度な保温や被覆は、軟弱徒長な生育となり品質低下を招くので、施設内の空気循環や天候に応じた日中の換気を行う。
- 3 生育や土壌水分を考慮し、過湿にならないかん水管理を行う。